

桜区防災ニュース

第31号（令和5年7月）

桜区自主防災会

<https://sakuraku.org>



風水害に備える

大雨・台風シーズンの到来により、自然災害が発生しやすい季節となりました。改めて、日常の対策と発災時の避難行動手順を確認し、風水害に備えましょう。

日常の対策

- ① 家の周りの点検：飛散・倒壊の恐れがあるものを確認する。雨樋や側溝などを清掃する。
- ② 非常持出品・備蓄品の準備：停電や断水に備えて家族の7日分を準備する。
- ③ 避難情報・気象情報の入手準備：防災ラジオ、刈谷市防災気象情報「あいかり」、気象庁キキクル（危険度分布）、愛知県川の防災情報、KATCH 災害情報

風水害が発生する可能性がある場合の行動

急激な降雨のように、突発的な異常気象の場合には、市からの避難情報が間に合わないケースもあります。身の危険を感じたら、市からの避難情報を待つことなく、安全な場所へ自主的に避難しましょう。

危険な状況の中での避難はできるだけ避け、安全の確保を第一に考えます。屋外に出て指定された避難所などへ移動（**水平避難**）することが危険と感ずる場合や、その余裕がない場合は、自宅や隣接建物の2階以上へ避難（**垂直避難**）することが、安全な場合もあります。 「刈谷市防災ガイドブック」より

なお、レベル3の高齢者等避難、レベル4の避難指示が発令された場合は、避難行動要支援者の方にお伝えしますが、ご家庭でも情報の収集に心がけて下さい。また、災害の発生が予期される場合には、ご近所の共助（呼びかけ、支援）をお願いいたします。

また、今のうちに、裏面の「避難行動判定フロー」を確認しましょう。

避難とは“難”を“避”けることです。安全な場所で“命を守る”ことです。

今のうちに、 自宅が安全かどうかを 確認しましょう！



ハザードマップ

検索

避難行動判定フロー

スタート!

あなたがとるべき避難行動は？

ハザードマップ*で自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

*ハザードマップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、周り比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、市区町村からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則として*、自宅の外に避難が必要です。

例外

※浸水の危険があっても、
①洪水により家屋が倒壊又は崩落してしまうおそれの高い区域の外側である
②浸水する深さよりも高いところにいる
③浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食糧などの備えが十分にある場合は**自宅に留まり安全確保することも可能**です。

※土砂災害の危険があっても、十分堅牢なマンション等の上層階に住んでいる場合は**自宅に留まり安全確保することも可能**です。

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

いいえ

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

警戒レベル3が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう(日頃から相談しておきましょう)

警戒レベル3が出たら、市区町村が指定している指定緊急避難場所に避難しましょう

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

警戒レベル4が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう(日頃から相談しておきましょう)

警戒レベル4が出たら、市区町村が指定している指定緊急避難場所に避難しましょう

警戒レベル	避難行動に関する情報等	とるべき行動
警戒レベル1	早期注意情報 (気象庁発表)	● 災害への心構えを高めましょう。
警戒レベル2	洪水注意報、 大雨注意報等 (気象庁発表)	● 避難に備え、ハザードマップなどにより、自らの避難行動を確認しましょう。
警戒レベル3	高齢者等避難	● 避難に時間を要する方(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児をお連れの方等)は安全な避難場所へ避難しましょう。 ● 自宅や建物内に浸水等のおそれのない上階等がある場合は、移動し、安全を確保しましょう。 ● 全員がいつでも避難できるように準備をしましょう。
警戒レベル4	避難指示	● 全員が安全な避難場所へ避難してください。 ● 自宅や建物内に浸水等のおそれのない上階等がある場合は、移動し、安全を確保してください。
警戒レベル5	緊急安全確保	● 命の危険があります。直ちに身の安全を確保してください。 ● 屋外に出ることによって命に危険が及ぶ状況の場合は、自宅や建物内のより安全な場所へ移動し、可能な限り安全を確保してください。